

子育てクルー KAWABE

基本的方向性

自然減対策 + 社会減対策

- 子ども・親・地域のつながりや交流がある
- 自然を生かしたスポーツや活動を通じて健康な子どもに育つ
- 子育て世代が経済的に安定し、安心して生活できる

計画期間

おおむね5年間
(平成27年～平成31年)

推進・検証体制

- ①PDCAサイクルの構築
重要業績評価指標（KPI）により政策の効果を検証し、改善を行うPDCAサイクルを構築
- ②住民参加による推進
産官学金労言により構成される「川辺町まち・ひと・しごと創生審議会」等において戦略の立案・推進、評価を実施する。

基本目標

1.ひとを育む

子どもからお年寄りまで、それぞれのライフステージに合わせて必要な支援を享受し、多様な生き方の実現を通じて、次世代の担い手となることを目指す。

2.しごとをつくる

既存産業の経営安定化や、サービス産業等の起業・創業を促進し、若い世代の移住・定住の誘因となることを目指す。

3.川辺に呼び込む

豊かな自然環境や歴史史跡等の観光資源を生かした地域の魅力発信、移住・定住を検討している人に対する情報発信や支援を行い、人を呼び込むことを目指す。

4.安心をつくる

地域ぐるみの防災対策の実施により、自然災害に対する課題を克服すると共に、防犯対策や医療・福祉サービスの充実を図り、暮らしの安全・安心を目指す。

5.まちをつなぐ

定住自立圏や大学、民間団体等の多様な主体と連携・協力することで、地域課題の解決や地域の活性化を目指す。

重点プロジェクト

(1) 子どもの未来・夢かわべ プロジェクト

- 1.学力だけでなく、地域の資源や歴史を知り、体験を通じて「知恵」を身につける
- 2.多世代・他地域・多国籍の人々と「交流できる力」を身につける
- 3.川辺町の自然環境を生かし、「体力・健康」をつくる

(2) 子育て・親育て・まち育て プロジェクト

- 1.「結婚・出産・子育て」の環境を充実させる
- 2.「働き方」の選択肢を増やし、若い世代の経済的安定を図る
- 3.子ども・子育て世代と「地域」とのつながりを創出する

主な施策とKPI

1.ひとを育む

- (1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援
婚姻件数：120件
(H26年：120件)
- (2) ワーク・ライフ・バランスの実現
放課後児童クラブ入所児童数：90人
(H27年：78人)
- (3) 子どもの「生きる力」を育てる
川辺町に住み続けたいと思う子どもの割合：60.0%
(H24年：49.1%)

2.しごとをつくる

- (1) 新規産業の起業・創業支援
企業立地奨励金
交付事業所数
(累計)：5件
(H26年：1件)
- (2) 既存産業の振興
川辺町商工会登録所数
：306事業所
(H27年：306事業所)

3.川辺に呼び込む

- (1) 交流人口の拡大
イベントの参加者数
：66,500人
(H26年：63,200人)
- (2) 移住・定住人口の拡大
社会増減数：0人
(H26年：△75人)

4.安心をつくる

- (1) 災害に強いまちづくり
消防・防災体制に対する満足度：80.0%
(H26年：71.1%)
- (2) 交通事故・犯罪が少ないまちづくり
交通事故発生件数
：34件
(H25年：38件)
- (3) 健康・福祉の充実
地域見守りネットワークの登録人数：500人
(H26年：350人)

5.まちをつなぐ

- (1) 定住自立圏の連携による地域課題の解決
川辺町に住み続けたいと思う人の割合
：83.0%
(H24年：81.3%)
- (2) 定住自立圏の連携による地域の活性化
モニターツアー等イベントの参加者数
：100人
(H27年：-)